

科目名		就職実務 II			
担当教員		目黒 敬也	実務授業の有無	○	
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	1. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるよう指導する。 2. エントリーの仕方、面接対応など説明のほかにロールプレイングを交えた、実践的な指導も行う 3. 業界研究や、企業研究などの情報収集はインターネットや情報誌、ガイダンスなどで自律的な活動を促す指導をする。 4. 実際の就職活動に対する、個別指導。				
学習目標 (到達目標)	①自律的な就職活動ができるようになる。 ②内定の確定。 ③社会人としてのマナーとルールが身についている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	SUCCESS、配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	訪問・受験・内定まで-1 ①就職活動のルール ②履歴書・エントリーシート		方法：教科書を使って説明 N I TおよびNSGカレッジリーグの就職活動に関するルールが理解できる。履歴書などが完璧に書ける。		
2	訪問・受験・内定まで-2 ①就職活動の作戦 ②企業訪問・お礼状の書き方		方法：教科書を使って説明 自分の希望や家族の考えを整理し、自分なりの就活のストーリーを頭に描き、作戦を立てることができる		
3	訪問・受験・内定まで-3 ①面接対策 ②一般常識・就職作文の書き方		方法：教科書を使って説明 各企業の過去試験内容を理解し、対策ができる。また、その際の注意事項がわかり、実践することができる。		
4	内定したときの対応 お礼状の書き方 ビジネス文書の書き方		①方法：教科書を使って説明 ②ピ各種書状の必要性を理解し、相手に対して失礼のない文章を書くことができる。		
5	就職活動状況の共有・個人面談		クラスの就職活動情報共有しながら、特に活動に問題のある学生を中心に個人面談を行う。		
6	まとめ		前期のまとめ。期末試験の内容。		
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験	提出物			内定に結びつけための就職活動の支援と、社会人になってからのマナーの重要性を学ぶ。また、実際の就職試験を踏まえた対応を行うため、個々の就職活動状況の把握をするとともに、個別対応も同時に行っていく。但し、あくまで、自律的な活動を促すことを指針とした指導とする	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	建築大工として約5年実務に携わる				